

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和5年12月6日(水) NO18 文責 木下^{さした} 文秋^{ふみあき}

割れ窓理論

割れ窓理論とは、一枚の割られた窓ガラスをそのままにしていると、さらに割られるガラスが増え、いずれ街全体が荒廃してしまうというアメリカの犯罪学者が提唱した理論のことです。ブロークンウィンドウともいいます。この理論は学校でも有名な話です。例えば、校内に色々な紙やゴミが落ちていてそのままにしていると、あっという間にゴミだらけになります。大事なことは気づいた人が拾い、汚れた環境を作らないということです。1年生の学年通信にトイレのことが書かれていました。トイレがたまり場になっていて、大声を出す、奇声をあげる、スリッパが並ばない、スリッパが濡れているというマイナスの事案が起きていることが分かり、指導を入れたところ改善されつつあるようです。一人ひとりが環境美化や公衆道徳について意識しないと改善はされません。公園の公衆トイレや駅のトイレなど不特定多数の人が使用する所は、汚いまま放置すると、とことん汚くなってしまいます。公衆道徳が乱れて、それぞれが使いたい放題、後の人のことを考えないと荒廃していくということです。また、このことはトイレや教室と言った場所に限ったことではないと思います。例えば人柄にも通用します。私は常々、ダメな価値観を持った人と一緒にいると自分までダメになると感じる場合があります。「そんなことはせんでもいい」「それくらしても構わん」という勝手な解釈で物事を進めていく人と一緒にいると、自分中心で周りのことをよく考えないまま生活する人になってしまうと思うのです。自分自身を振り返ると、だらしがなかったと思う時期には、やはり気持ちがゆるんでいたりと、楽な方に走っていたりします。それはもちろん自分自身の気持ちの弱さのせいですが、でも少し、周囲の影響を受けていたことがあるかもしれないと思うことがあります。割れ窓理論が教えてくれること。それは、無秩序で乱れた環境は、人の心をむしばみ、そして周囲の環境に影響を及ぼすということです。汚れたトイレは美しく整える。乱れた靴はきれいに並べる。そういうことの繰り返しで落ち着きのある生活は保障されます。学級だって同じです。授業中数名が、こそこそ妨害をするような雰囲気があれば、自然とその空気は伝わり、「いけない雰囲気」が「面白い雰囲気」へと変化します。これを学級崩壊と言います。皆さんのクラスは大丈夫ですか。窓ガラスは割れていませんか？